

平成29年10月30日

研修報告書

まつど自民

研修:仙台市下水道事業におけるアセットマネジメントの取組

日時:平成29年10月30日(月) 14時~15時半

場所:仙台市議会会議室

【研修報告】



近年笹子トンネルの事故をはじめ、老朽化が原因と考えられるインフラ施設の事故が多発している。加えて東日本大震災により仙台市内のインフラ施設の事故が発生してしまった。

インフラ施設の復旧について、最大の問題点は財源の確保と優先順位である。事故箇所が多数あったときに、事故の度合いの深刻さや財源がいくらかかるのかで優先順位を決めていくのが通常の流れである。

しかし、現実には市民からの電話連絡や地元町会からの要望等に耳が傾きがち…。

これでは財源がなくなる一方で、インフラ施設の老朽化は進み事業リスクは高まる。

そこで仙台市が取り入れたのがアセットマネジメントである。

(アセット…資産、マネジメント…管理)

具体的にどのようなことをしているかという、一目でわかるように地図情報システム(GIS)でリスク情報を管理。リスクの評価結果により、工事の優先順位を判断し、予算措置を行うもの。

また、管路維持台帳に調査結果を入力することもでき、誰が見てもわかるような業務プロセスになっている。

加えて、平成26年3月11日に日本で初めてISO55001の認証を取得した。

これで、アセットマネジメントによる内部監査と、ISO認証機関によるダブルチェック機能が活用され、より効率的な下水道事業が可能となった。



(まとめ)

現在地方自治体の財源不足が懸念されている中で、こうしたアセットマネジメント事業は今後必要不可欠と言える。いかにして、無駄な事業を削減しかつ事業リスクを減少させるかがカギとなる。市民からの問い合わせ順が優先順位も大事であるが、なるべく全体を考えた優先順位を決めていく必要があると感じた。

以 上